

各関係機関長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

病害虫防除情報第4号

かんきつかいよう病の発生状況についてお知らせします。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

1. 作物名 かんきつ

2. 病害虫名 かいよう病

3. 発生状況

1) 6月の巡回調査における春葉の発生面積率は40.0% (平年値18.3%)、発病度は0.83 (平年値0.30)、発病葉率は3.8% (平年値1.6%)と平年に比べて多であった。また中晩柑においても同様に春葉の発生面積率は66.7% (平年値35.5%)、発病度は1.18 (平年値0.50)、発病葉率は5.7% (平年値2.3%)と平年に比べて多であった。(図1、2、3、4参照)

2) かいよう病に比較的強い温州みかんでも発生が多い状況が続いている。

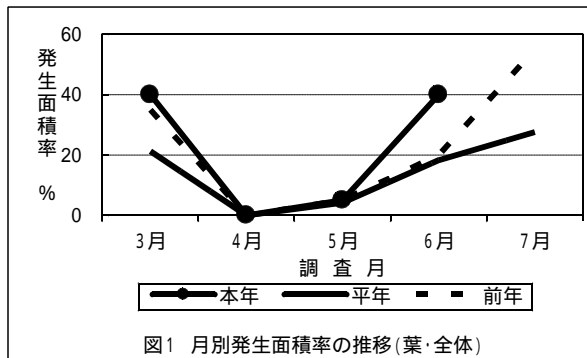


図1 月別発生面積率の推移(葉・全体)

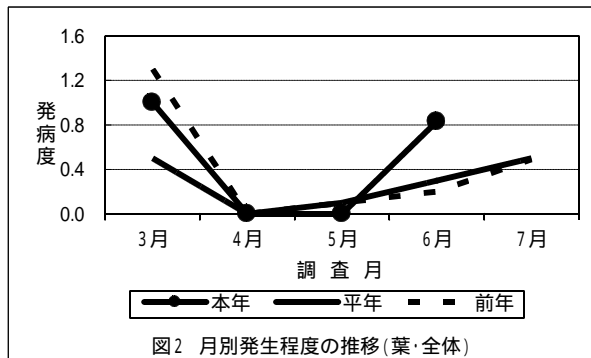


図2 月別発生程度の推移(葉・全体)

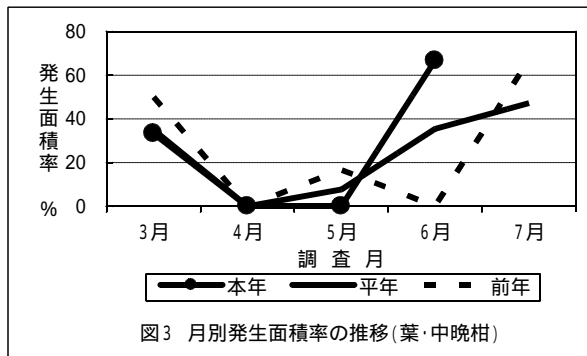


図3 月別発生面積率の推移(葉・中晩柑)

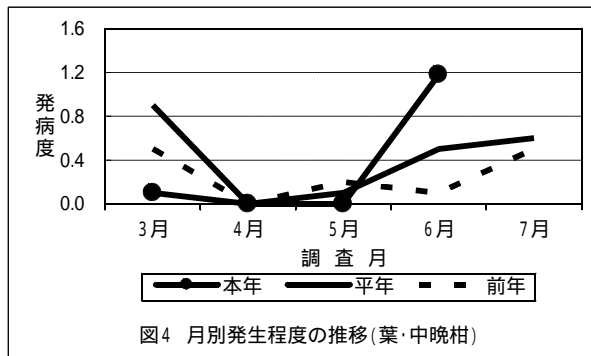


図4 月別発生程度の推移(葉・中晩柑)

(3月は古葉での調査)

4 . 防除上の注意

- 1) 発病した枝葉は伝染源となるため、できるだけ除去し、園外に持ち出し適切に処理する。
- 2) 風雨による傷から感染しやすいので防風垣等を整備して枝葉を傷めないようにする。
- 3) ミカンハモグリガの被害も病原菌侵入口となるため、夏秋梢の発生の多いほ場では防除を徹底する。
- 4) 台風襲来が予想される場合には台風接近前に防除する。(事後より事前の方が効果が高い)
- 5) 発育枝が密生している部分は、風により傷がつきやすく、感染の機会が増加するため、間引き剪定を実施する。
- 6) 無機銅水和剤による防除を行う場合は、炭酸カルシウム水和剤(クレフノン)200倍を加用する。なお、かんきつ類におけるストレプトマイシン剤は登録が失効しています。
- 7) 登録のある薬剤等、その他の詳細については、病害虫防除・肥料検査センター、総合農業試験場生物環境部、農業改良普及センター等関係機関に照会すること。また、農薬使用基準を遵守し危被害防止に努める。

《連絡先》

病害虫防除・肥料検査センター 加藤

TEL:0985-73-6670 FAX:0985-73-7499

ホームページ :<http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>

E-mail:byogaichu-hiryu@pref.miyazaki.lg.jp